

教育目標

自ら学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子

飯小は、この教育目標を理念に、「共に育ち、共に生きる 地域の学校」を目指します。

学校だより

上越市立飯小学校

明治9年8月17日開学

R7.2.21

第10号



□■□『かかわり合ってつくる』をめざして！□■□

感謝の気持ち ⇔ 幸福感

「相手に感謝する気持ちをもつことは自身の幸せ感を上昇してくれる」「普段から感謝する気持ちが高い人ほど幸福感が高い」「幸福だと思える人はよく感謝する人」などの研究報告があることをご存じのことと思います。「ありがとう等の感謝の言葉は、受ける人よりも伝える側の方に大きな効果がある」という研究報告もあるそうです。

1～3月の生活目標は、『「ありがとう」の気持ちを伝えよう』です。「互いに『かかわり合ってつくる』毎日を過ごしてきた」学級・学年の仲間や全校をリードした6年生、家族や地域の方々、先生方などに対して、言葉や行動で「ありがとう」の気持ちを伝えることができる心の成長を願うものです。

その具体的な取組の一つとして、6年生が、様々な方への感謝を伝える卒業プロジェクトとして、「卒業文集チーム」「ありがとうチーム」などの6チームで活動を進めています。その中の「イベントチーム」が、2月10日『全校お楽しみイベント』を行いました。1年間、かがやき班活動を『かかわり合ってつってきた』メンバーが和気あいあいと活動していました。そして、1～5年生はリーダーの6年生に対して、6年生は1～5年生のサポートに対して、「ありがとう」の気持ちを高めることができました。そこは『幸福感』に満たされていました。

また、6年生を送る会を2月26日に予定しています。今、5年生を中心に、準備が進められています。今年度は、5年生がリーダーとなり学年を越えて頑張りたい準備内容に集まるプロジェクト制で、体育館の飾り作り、垂れ幕作りなどに取り組んでいます。ここにも、6年生に「ありがとう」を伝えたいという『幸福』な雰囲気が満ちています。きっと、6年生を送る会の当日は、全校の『幸福感』が、もっともっと高まることでしょう。



全児童での
手形アート



↑6年生を送る会 飾り作りプロジェクト

↓6年生への寄せ書きつくり



↑6年生から
全学年へのメッセージ

これからも、子どもたちに『感謝の気持ち⇔幸福感』のよいスパイラルが続きますように！

■ □2月、3月の予定 □ ■

2月	
26日(水)	6年生を送る会
28日(金)	スクールカウンセラー来校日
3月	
3日(月)	校内版画展(～11日)
4日(火)	学校訪問カウンセラー来校日
6日(木)	学習参観(5限)、学年懇談会、 第4回PTA常任委員会
8日(土)	PTA奉仕作業
10日(月)	卒業式練習(3限)
11日(火)	学校訪問カウンセラー来校日
12日(水)	委員会活動(4～6年生)
13日(木)	卒業式練習(3限)
14日(金)	地域児童会(集団下校)
17日(月)	卒業式練習(2限)
18日(火)	学校訪問カウンセラー来校日
19日(水)	3学期終業式、卒業式練習、 卒業式前日準備(5年生)
21日(金)	第133回卒業証書授与式
24日(月)	年度末・年度始休業(～4/7)
25日(火)	離任式

■ □かかわり合ってつくる □ ■

(1) スギの伐採体験(6年生)

6年生の子どもたちは、正善寺工房に人々が集い、憩いの場となるようなベンチを置きたい、と考えました。材料となる木材を探していると、正善寺地域の方から、伐採するスギの木を分けていただけることになりました。



地域の方々のたくさんの支援を受け、1月24日(金)、6年生全員が伐採現場に出かけ、樹齢60余年のスギの木が伐採される場所を見学し、枝払いと玉切りにした丸太の運搬を体験しました。見学や体験を通して、子どもたちは自

分よりもずっと長く生きてきた木の命を受け継ぎ、大切にベンチをつくっていこうという思いを強くしていました。

(3) 体験入学での交流(1年生)

2月7日(金)に1年生と新1年生との交流会がありました。この日に向けて、1年生の子どもたちは、魚釣りやボーリング、輪投げなどの遊びコーナーの製作を一生懸命に進めていました。また、一人一人が歓迎の気持ちを手紙にしたため、自分たちが育てたあさがおの種とセットにして、新1年生に渡そうと張り切っていました。

当日は、緊張しながらも一生懸命に新1年生をリードしていた子どもたち。交流を通して2年生になる気持ちを一層高めることができました。



(2) 感謝の会(5年生)

2月4日(火)、5年生の子どもたちは、米や味噌づくり、上越野菜の学習でお世話になった方々をお招きし、感謝の会を開きました。

感謝の会では、ご指導いただき一緒に作った米と味噌を使い、料理でおもてなしをしたり、自分たちが体験させてもらったことや学んだことなどを劇などで発表したりしました。会の準備や運営を通して、子どもたちは、「食べ物に感謝の気持ちを持ち、残さず食べたい」「生産者の思いを私たちが伝えていきたい」など、食への考えを深めていました。

